

■別紙1:モデル仕様書(公開型GIS)

本業務は、地域未来交付金デジタル実装型の優良モデル導入支援型【TYPEA】に当市が採択された事業として実施するものである。
 本業務は、デジタルを活用して地域の課題解決等を図るサービス・システムの導入の展開を進めるため、デジタル庁のモデル仕様書に準拠した実装を行うものとする。
 本業務で構築する公開型GISは、下記項目を全て満たすシステムとして構築することとする。

機能分類体系			モデル仕様書・要件定義	
大項目	中項目	小項目	要件	詳細要件・補足説明
■基本要件				
基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	利用者側の機器環境 ・対応デバイス:PC、スマートフォン、タブレット ・対応OS、バージョン:Windowd11、Android11以降、iOS12.5.4以降 ・対応ブラウザとそのバージョン:Microsoft Edge、Chrome55.0.283以降、Safari10以降 管理者側の利用環境 ・対応デバイス:PC ・対応OS、バージョン:Windows11 21H2以降 ・対応ブラウザ、バージョン:Microsoft Edge 94以降 利用環境においては、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを必要とする(プラグイン)か、必要としない(ノンプラグイン)かを提案書に明記すること。必要とする場合は、業者において設定を行うこと。
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	利用者側環境:インターネットで動作すること。 管理者側環境:インターネットで動作すること。 インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。 通信環境は、次のとおりとする。 ※自治体情報セキュリティ対策の3層分離において、仮想デスクトップ環境など仮想環境にて利用する場合には、その環境を明示し、動作可能なことを条件として示す。管理者側での利用は発注者の通信環境に対応すること。
		データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。 データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	データを管理するデータセンターは、日本データセンター協会が定めるファシリティスタンダードの項目がティア3以上のものとする。詳細は別紙「データセンター要件」に記載。 ・バックアップ環境:指定した場合を除き全て日本国内であること。 ・サイクル(間隔):週次(日曜日) ・保有世代数(保有期間):4世代(4週間分)
	想定利用者数	サービス利用人数	想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。	利用する端末台数等の制限はないものとする。
		管理者機能利用人数	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	利用する端末台数等の制限はないものとする。
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	—
			利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。	—
		アクセシビリティ	「JIS X8341-3:2016」等のアクセシビリティに配慮していること。	「JIS X8341-3:2016」が規定する「レベルAA」に準拠するなどアクセシビリティに配慮したデザインであること。
		多言語対応	指定する言語に対応すること。	次の言語に対応すること。 ・日本語 ・英語 ・中国語(簡体字/繁体字) ・韓国語
	データ移行	—	現行システム(サービス)で保有するデータを、新システム(サービス)の初期データとして移行(登録)できること。	特記仕様書の通り。
サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報(発注者が提供を希望する情報)については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—	
	保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	—	
地図の種類	—	システムで使用する背景地図の種類は指定のとおりとすること。	特記仕様書の通り。	

	利用規約等	利用規約への同意	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認(同意)を取ることができること。	—	
		プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	—	
■機能要件					
サービス利用者向け機能	トップページ	トップページ等	利用者向けトップページが設置できること。	—	
	お知らせ機能	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。	—	
	利用者機能	操作説明	利用者に操作方法を示すことができること。	—	
	スマートフォン対応	表示	スマートフォンに最適化された画面表示ができること。ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。	—	
管理者向け機能	管理者登録	アカウント登録・設定	管理者アカウントの登録・設定ができること。	—	
		ロール設定	管理アカウントごとのロール設定ができること。	—	
	統計機能	—	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。	・サービスへのログイン数 ・テーマや主題図ごとの閲覧数 ・接続OSごとの閲覧数 ・表示、検索、入力、出力、印刷、編集などの機能利用数	
地図機能	地図コンテンツの表示	背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。	—	
		凡例表示	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	—	
	2画面表示		異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。	—	
			並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。	—	
	主題情報		主題情報(施設情報や地図コンテンツ等)のレイヤと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。	—	
			レイヤ単位及び属性情報の分類単位で表示・非表示の切り替えができること。	—	
	地物の属性表示		テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。(事業者による対応でもよい。)	—	
			地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。	—	
			属性情報として数値、文字列、URLなどのデータ型を設定できること。	—	
			URLについてはハイパーリンクとして表示できること。	—	
			画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。	—	
			地図上の地物の属性一覧を表示できること。	—	
			属性一覧画面から地物を検索できること。	—	
	地図の機能	拡大縮小		表示地図の縮尺を拡大・縮小できること。	—
				マウス操作により地図を拡大・縮小できること。	—
		移動		地図を任意の方向に移動できること。	—
			マウス操作により地図を移動できること。	—	
現在地表示			表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。	—	

中心マーク表示	表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。	—	
縮尺表示	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。	—	
索引図表示	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。	—	
	索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。	—	
URLによる共有	表示している地図の内容を表示できるURL、二次元コードを表示できること。	—	
住所・目標物検索	住所情報による地図検索ができること。	—	
	住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「—」「ー(長音)」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。	—	
	目標物による地図検索ができること。	—	
経緯度表示	地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。	—	
経緯度検索	経度・緯度を指定して位置が検索できること。	—	
ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。	—	
印刷	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。	—	
	都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。	—	
	コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。	—	
ファイル出力	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。	—	
計測	マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。	—	
	距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。	—	
	計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。	—	
作図	地図上に一時的な図形(点・線・面等)を作成できること。	—	
	一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。	—	
地図の管理	主題情報 のレイヤ の表示	図形情報に対応するポイント(点)、ライン(線)、ポリゴン(面)を表示できること。	—
		レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。	—
		レイヤの表示順を設定できること。(事業者による対応でもよい。)	—
		レイヤの色分け表示、ラベル表示を設定できること。(事業者による対応でもよい。)	—
		ポイント(点)レイヤとして表示するアイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。	—
		背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。	—
		線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。	—
		面レイヤは、枠線や塗りつぶし部分の種類、太さ、色、透過度等を変更できること。(事業者による対応でもよい。)	—

